



美祢社会復帰促進センターは、我が国初のPFI手法を活用した官民協働の刑務所として発足しました。

2期目の事業期間に入る2025年4月からは「公共サービス改革法」による民間委託に切り替わり、引き続き国と民間が協力して刑務所運営を行っています。

民間事業者のアイデアやノウハウを活用しながら、国と民間事業者が協力して刑務所運営を行うことにより、相互の持ち味を活かして、よりよい矯正処遇を目指しています。

概要

所在地：山口県美祢市

収容定員：1,296名

(男子500名、女子796名)



当センターでは受刑者をセンター生と呼んでおり、更生意欲が高く、再犯リスクが低い、円滑な社会復帰が見込まれる受刑者を中心に収容しています。

沿革

H16.1 山口県美祢市を第1号PFI刑務所の事業地に決定

H19.4 美祢社会復帰促進センター開設

R7.3 第1期事業終了

R7.4 第2期事業開始



特徴

1

ICT等の最新技術を活用した職業訓練や社会復帰支援を実施



センター生自身が3DCGの技術を習得し、訓練の中でメタバース空間(ワールド)を制作する職業訓練や、VR(バーチャルリアリティ)を活用したSST(ソーシャルスキルトレーニング)等を行い、実社会の生活場面や就労場面を想定したトレーニングを行う社会復帰支援など、ICT等の最新技術を活用した取組を実施しています。

2

地域密着・貢献型の職業訓練を実施



センター生自身が地域の一員として地域課題の解決に貢献していく機会を数多く提供しています。美祢市の特産物や観光の魅力をポスターで表現する「販売戦略科」など、センター生が地域の方から直接お話をお伺いする機会を作り、地域課題解決へ貢献する経験を積むことで地域貢献意識を養い、再犯防止×地域との共生を実現しています。

3

位置情報把握システム



センターへの入場者に無線タグを装着し、位置情報をリアルタイムに把握します。センター生については生体認証装置により、無線タグと本人の所在確認を行います。センター生を病院や他の施設に護送する場合にも、GPSと通信機能を備えた位置情報把握システムを活用し、逃走などの保安事故を防ぐ対策をとっています。

4

コンクリート塀のない刑事施設



当センターでは、各種防犯センサーや監視カメラ、電気錠等のシステムを民間事業者が構築し、維持管理を行っています。当センターの周囲にはコンクリート製の外塀ではなく、視野を遮らない多重のフェンスを張り巡らせ、周辺環境との調和を図っています。

地域との共生

みねMarket



当センターでは、センター生が考案、製造したパンを、地域の皆様へ自分たちの手で販売するイベントを「みねMarket」として実施しています。

豊田前保育園



豊田前保育園は、全国で初、既存の保育園が刑事施設敷地内(※収容区域外)に移転・開園した保育園です。園舎は2階部分となっており、保育室や調理室、外には園庭を備えています。